

G3中山金杯

<最終見解>

12月の中山芝は、降雨がほとんどなかったことと、例年のない馬場のつくり方をしたことで、例年以上に直線スピードを発揮できる馬場。

主流血統。なかでも、ハーツクライの血を持つ馬が無双状態。
有馬記念、ホープフルSもハーツクライを持つ馬が連勝。

本命はアラタ。

母父がハーツクライ。父キングカメハメハは母父の個性を引き出す種牡馬。
中山金杯をレコード勝ちしたラブリーデイもキンカメ産駒でサンデー、トニービンも持つ馬で内枠。
ラブリーデイがレコード勝ちした当時とは馬場の造りは異なるものの、当時ぐらいに軽い馬場。

対抗エピファニー。主流血統で高速内回りは歓迎。

ハーツクライ産駒のマテンロウレオ、ボーンディスウェイも当然注目。

あとは主流血統のククナ、年末の中山芝も好調だったシルバーステート産駒のリカンカブールが相手妙味。

G3京都金杯

<最終見解>

主流血統の直線スピードが発揮しやすいコース、馬場。
特にナスルーラ系の伸びを強化された血統馬に相性がいいです。

本命はアヴェラーレ。

主流血統が走りやすい馬場では最高レベルの種牡馬ドウラメンテ産駒。

鞍上は川田騎手からフランスのルメートル騎手に。

川田騎手は天栄調整馬のリズムは合いません。

逆に天栄調整馬はフランス出身の騎手とは相性がいいです。

今回はフランス指向の直線スピードを引き出す乗り方での一変に期待します。

相手も外枠でドゥラメンテ産駒と同じ主流馬場では最高種牡馬
ディープインパクトの血を持つ 15 ドーブネ、14 アルナシーム。

外枠独占になりやすいコース、馬場なので、10 番より外の枠の馬はすべておさえても。